

# 平成30年度第4回草加市みんなでまちづくり会議 会 議 録

## 1 開催日時

平成31年1月30日（水）午後7時～午後9時10分

## 2 開催場所

草加市立中央公民館 第1・2講座室

## 3 出席者の氏名

(1) 登録員 9名

(2) 事務局 みんなでまちづくり課：山中課長、工藤課長補佐、巖上主査、福島主事、鈴木主事  
市民活動センター：鈴木(智)所長、小柳主事

## 4 議事

### (1) 報告

・綾瀬川など市内の河川の積極的な活用と応用について

### (2) 議題

・草加市子育て応援・情報サイト「ぼっくるん」について

・住み慣れた地域で暮らし続けられる「ふるさとまちづくり」について

## 5 公開・非公開の別

公開

## 6 傍聴者数

2人

## 7 会議の内容

別紙議事録のとおり

## 8 議事録署名人

長谷部健一様、酒井斉様

# 平成30年度第4回草加市みんなでまちづくり会議 会議録

【実施日時】 平成31年1月30日（水）午後7時～午後9時10分

【実施場所】 草加市立中央公民館 第1・2講座室

【出席者】 まちづくり登録員：9名、傍聴者：2名

事務局：みんなでまちづくり課 山中課長、工藤課長補佐、巖上主査、福島主事、鈴木主事  
市民活動センター 鈴木(智)所長、小柳主事

## 1. 開 会

## 2. 議 事

### 《報告》

- ・綾瀬川など市内の河川の積極的な活用と応用について

### 《議題》

- ・草加市子育て応援・情報サイト「ぼっくるん」について
- ・住み慣れた地域で暮らし続けられる「ふるさとまちづくり」について

## 3. 閉 会

### 【会議内容】

【事務局】 (鈴木所長)	<p>本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、平成30年度第4回草加市みんなでまちづくり会議を開催します。本日司会を務めさせていただきます、市民活動センター所長の鈴木です。よろしくお願いします。</p> <p>議題に入る前に、“みんなでまちづくり会議”の概要について手短かに説明させていただきたいと思います。</p> <p>本日、皆さまにお集まりいただいているこの「草加市みんなでまちづくり会議」は、草加市みんなでまちづくり自治基本条例に基づき開催している会議です。この「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」は市の条例の中で最も基本となるものとして、『だれもが幸せなまち』をつくるため、市政の基本となる原則や方針を定めるものとして施行されました。この条例の特徴は、市民の提案権や発言の場などを保障し、市民の皆さんが直接まちづくりに参加できる場所にあります。会議を進めていく中で、テーマについて意見交換をし、今後、市民（NPO）と市で協働事業を実施していこう、ということになれば、担当課との協力も必要になりますが、皆さんのまちづくりを市に提案できることになっています。以上のような位置づけの会議です。</p> <p>《配布資料確認》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会議の次第</li><li>・資料1 子育て支援センターの資料</li><li>・資料2 草加市子育て応援・情報サイト「ぼっくるん」について</li><li>・資料3 草加市子育て応援・情報サイト「ぼっくるん」（HP抜粋）</li><li>・資料4 今回のテーマ</li><li>・資料5 市等で作成している資料・配布物の一覧</li><li>・資料6 平成30年度第3回草加市みんなでまちづくり会議 意見の整理</li><li>・資料7 みんなでまちづくり会議の運用</li><li>・参考 草加パドラーズ会報第119号</li></ul> <p>【会議録の署名について】</p> <p>会議開催に当たり議事録を作成しますので、議事録の署名人を2名決定します。本日は、長谷部様、酒井様をお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。</p>
-----------------	---

<p>【参加者一同】</p>	<p style="text-align: center;">《賛成》</p> <p>それでは、長谷部様、酒井様、議事録の署名につきまして、よろしく申し上げます。</p> <p>ここから本日の議題に入ります。まちづくり登録員の【登録員A】に進行をお願いすることが決まっておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>【登録員】 （登録員A）</p>	<p>本日の資料の説明を事務局からお願いします。</p>
<p>【事務局】 （鈴木所長）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1～3 ⇒子育て支援センター遠藤所長から説明があります。</li> <li>・資料4 今回のテーマ ⇒前回の会議で【登録員E】から説明がありましたので、詳細については割愛します。</li> <li>・資料5 市等で作成している資料の一覧 ⇒行政サイドで作成している、各種の行政サービスが受けられる拠点等の情報について、健康福祉部、子ども未来部の資料を中心に集めリストにしたもので、前回の会議でも配布しました。全て挙げると膨大な量になることから、マップ的なものや全市的なものを中心に抽出しています。この一覧にある資料の現物が、前回同様に皆様のグループの机にそれぞれ1部ずつ置いてあります。</li> <li>・資料6 平成30年度第3回草加市みんなでまちづくり会議意見の整理 ⇒10月24日に開催した前回会議で皆様から出された意見についてまとめたものです。</li> </ul>
<p>【登録員】 （登録員A）</p>	<p>この会議のテーマにつきましては、全体テーマ「まちづくり・ひとづくり」のうち、「綾瀬川など市内の河川の積極的な活用と応用」について、平成30年度第2回会議まで3回にわたり皆さんで話し合いましたが、その後の進捗等について、発案者の【登録員B】からご報告をお願いします。</p>
<p>【登録員】 （登録員B）</p>	<p>4年前に綾瀬川があまりに汚いのでゴミ拾いをはじめました。今日は水曜日なので定例で川のゴミ拾いをしてきました。今日は寒くて手がかじかみましたが、それでも頑張って5袋分のゴミを拾ってきました。去年のデータをまとめることができたので発表します。平成30年の出動回数は168回でした。ゴミを回収した数は、45Lのごみ袋796袋でした。この4年間を合計すると、45Lのごみ袋が2600袋でした。</p> <p>ここの所で船着き場の改修工事が始まりました。そのことで困っていることがありまして、海岸上につくるとなると、30cmほどの段差ができます。子どもたちと一緒に活動をしているため、子どもたちが段差に足を滑らせて頭を打ってしまうと命に係わるので、パドラーズと市長で相談をしましたが、工事をやめられないと言うのです。これからどうするのかということは、また役所と話し合わなければいけないのですが、我々は年間168回も活動をしている団体であるにも関わらず、約700万円の予算をつけて、一言も相談なく我々が活動する場所で危険な改修工事をするのは問題です。私はこの会議に5年間参加していて、一生懸命話をしても役所に伝わりません。</p> <p>そういうことを考えた時に、この会議は本当に市民の意見が役所に届き、よいまちにしようということが実現できる会議なのかどうなのか非常に残念に思っています。皆さんのお手元にパドラーズの会報が置いてあるかと思います。市民を見つめ、まちをよくしたいという思いでパドラーズの活動をやってきました。私は越谷合同庁舎の課長さんに何度も直談判を行い、獨協大学と札幌河岸公園に船着き場をつくってあげられるよと返事をいただくことができました。残念ながら、このことはみんなでまちづくり会議で訴えて実現したものではありません。</p> <p>毎回思うのが、この会議に参加する人が一生懸命に訴えかけても実現できないということ</p>

	<p>です。役所の人たちも錚々たるメンバーが出てきてくれています。そこで、この会議のシステムそのものの改革が必要であると思います。</p> <p>今のような会議が続くのであれば、私は次回以降の会議に出ません。この会議ではこのまちは変わらない。私たちは役所を批判している訳ではありません。市民活動センターをはじめ、錚々たるメンバーに尽力していただいています。しかし、自分たちの意見を1つも実現できていない。情けないし、悔しいし、悶々としています。</p> <p>今日は朝方、-1℃でした。冷たいと感じるが、耐えて自分たちが協力してこのまちを変えなくてはならないと感じます。このシステムは本当に真摯に市のためになるものであるのか。役所を批判している訳ではないですがシステムが問題です。</p>
<p>【登録員】 (登録員C)</p>	<p>みんなでまちづくり会議をこれまでやってきて、実現しないのはなぜだろうと考えたのですが、みんなでまちづくり自治基本条例は実施条例ではないので、いくらやっても無駄であると条例をつかった元市議会議員が言っていました。条例はつくったけれど魂が入っていないからいくらやっても無駄だよと言われました。市が実施条例を定めなければ絶対に実施できない。なぜ話し合ったことが実現できないのか疑問を持たれている方は沢山います。それは条例が実施条例ではないからです。形はできたが中身を動かすハートがありません。私は会議に出続けますが、この点が改善されない限り非常に非効率的な会議であると思います。</p>
<p>【登録員】 (登録員D)</p>	<p>条例の公布から施行までに時間がかかります。公布はできるが施行に対する強制力がありません。行政の方々に質問ですが、獨協大学船着き場、札場河岸の船着き場の設置については、行政側が議会に出したのか、議会側から出したのか、どちらですか。</p>
<p>【事務局】 (鈴木所長)</p>	<p>不勉強で明確な回答ができないのでお調べいたします。時間の関係もありますので、次に進みたいと思います。</p>
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>今後も進捗等がありましたら、この会議で引き続きご報告をお願いします。この会議を始める前に、提案者や進行を務めるまちづくり登録員、みんなでまちづくり課と何度も話しているにも関わらず、【登録員B】がおっしゃったような内容があるのはおかしいと思います。過去の会議で、公共施設が老朽化していることを受けて市役所を移転した方がいいという話が出ていますが、4年後に市役所を建て替えることが決まっていて、私たちは既に計画されている内容について話し合っています。みんなでまちづくり会議で私たちが話している内容は、既に決まってしまうことだということに対して憤りを感じる方もいらっしゃいます。このことに関しては、私も進行を務めさせていただいていますが、【登録員C】がおっしゃったような視点で市の方と考えると、今後の会議を検討していかなくてはならないと考えています。</p> <p>本日は子育て支援センターの方がいらっしゃっています。子育て支援センターでは市民との協働ということで、子育てをしている親世代の視点でサイトを開設されています。市民協働という点でどのような形をとっているのか、問題点について参考になればということでお越しいただいています。それでは、遠藤所長よろしくお願いたします。</p>
<p>【子育て支援センター】 (遠藤所長)</p>	<p>本日は子育て支援センターについてご説明させていただいた後に、そうか子育て応援・情報サイト「ぼっくるん」についてご説明させていただきます。</p> <p>こちらのパンフレットにございます子育て支援センターですが、平成26年4月にさかえ保育園との複合施設として松原一丁目に開設した施設です。草加市の子育て支援の拠点として、子育てや子どもに関する様々な相談を受ける場所です。具体的には、子どもの虐待、おむつや離乳食など様々な相談を受ける機関です。相談の内容に応じて子育て支援コーディネーター、家庭児童相談員、ケースワーカーなどが相談を受けております。また、こちらの子育て</p>

支援センターでは、特に発達の部分で診療所を併設しており、医者等が常駐して、発達障がいや発達支援が必要なお子様に対して医学療法、作業療法、言語聴覚療法等のリハビリを行っております。併せて、児童デイサービスセンターとして、お子様の集団のグループ活動を通してコミュニケーション能力の向上や日常生活動作の向上などといった支援も行っております。

続きまして、そうか子育て応援・情報サイト「ぼっくるん」について説明させていただきます。そうか子育て応援・情報サイト「ぼっくるん」は市民との協働により行政、民間問わず市民に子育て支援の情報を広く届けられるよう平成26年4月に開設し、今年で6年目を迎えます。基本方針にもありますが、市民目線のサイトを目指して行政だけでなく市民との協働で運営しているのが一番の特徴です。

資料やクリアファイル、メモ用紙に出ているこちらのキャラクターは“ぼっくるん”といいます。そうか子育て応援・情報サイト「ぼっくるん」のイメージキャラクターとして平成26年4月から登場しているキャラクターです。資料と一緒に配布したクリアファイルやメモ帳は、子育て支援センターやぼっくるんの周知のためにつくったものです。まだあまり知られていないキャラクターですが、ぼっくるん＝子育てのイメージを定着して、草加の子育て支援に役立てたいと思います。

ぼっくるんのトップページについて、順を追って説明します。まず、「知りたい」「行きたい」「悩んだら」です。まず、「知りたい」は主に行政情報を掲載していて、妊娠、出産、保育園など状況に応じて受けられる子育ての支援制度・サービスなどの紹介をしています。次に「行きたい」は主にお出かけ情報を掲載しています。具体的には公園、親子が遊べる場、講座、講習の紹介をしています。「悩んだら」は子育てについて何でも相談できる子育て支援センター総合窓口です。その他に、相談場所検索システムで妊婦やお子様、家族が相談できる場所を検索できます。

左上段のカレンダーについてです。こちらはイベントスケジュールを掲載しています。広報そうかなどに掲載されている公共機関のイベント、子育て応援隊、その他民間団体から掲載依頼があったイベント情報を掲載しています。子育て応援隊については後程説明します。

上段真ん中にある新着情報です。こちらの新着情報は、子育てニュースと募集情報の2つがあります。まず、子育てニュースは主に草加市から子どもや子育てなどの最新情報を発信しています。もう一つの募集情報については保護者向けの講座、講演会、イベント出演者、協力者、草加市職員の募集を載せています。

新着情報の下にあるのが子育てコンパスです。こちらは役立つ情報満載の子育てヒント集です。具体的には妊娠、出産、子育てのヒントやアドバイスを紹介しています。

その下にあるのがぼっくるん隊と子育て応援隊のページです。この2つは市民の方が編集するページです。子育て応援隊の右にあるのが子育て応援マップです。これは草加市を8つの地域に分けて地域ごとに子育てに役立つ施設の住所や電話番号を掲載しています。具体的には遊び場、公園、保育園など地図上に表示されています。自分の住んでいる家の近くにどのような施設があるのかが簡単に分かりやすく見つけられるサイトです。

続いて子育て応援コラムの下、みんなの発言広場の中に「子育てプラス+」と「hanaそうか」があります。子育てプラス+はお気に入りのベストショットやおすすめの本などを掲載しており、見た人にとって子育てのプラスになるようなものになっています。また、hanaそうかは会員登録サイトで、子育て情報の交換ができます。「ちょっと聞きたい」「おしゃべりしたい」「耳より情報」「自己紹介」の4つのカテゴリでできたサイトで、会員同士でコミュニケーションをとることができます。

最後に1番下にあるのが「ぼかぼかまんが」です。こちらは月1回程度更新しています。日頃の子育てに関するあるあるネタを4コマ漫画で掲載しています。

最初の説明で、ぼっくるんは市民との協働で運営していると話しました。掲示板のように誰でも投稿できるものとしては「子育てプラス+」と「hanaそうか」がございます。それ以

外はぼっくるん隊や子育て応援隊がごさいます。これらは直接市民の方が編集するページとなっています。それ以外につきましては、子育て支援センターにある子育て情報コーナーみや子育て情報スポットプチみつけの子育て支援コーディネーターが情報収集し、編集を行っています。

次に、ぼっくるん隊について説明させていただきます。正式名称が草加子育て応援情報サイトぼっくるん運営委員会といます。定員は10名です。現在9名の方がぼっくるん隊として在籍しています。ぼっくるん隊は公募で集まった市民で構成されており、子ども・子育てに関して気になることを企画・取材して、記事にして掲載しています。月1回子育て支援センターで編集会議を行い、現在編集している記事の進捗状況を確認し、子育て世代がどのようなことに関心を持っているのか、どのような情報を求めているかを考え、今後の記事の内容を検討しています。

資料3-2は実際にぼっくるん隊が企画して編集した記事です。“幼稚園入園の不安を話そう座談会”とありますが、この記事は幼稚園に入園する前の保護者を集い、入園に際しての不安を話し合う座談会です。ぼっくるん隊の方々はこのような座談会やイベント、子どもが遊びに行けるような場所を取材して、市民目線で記事を書いていただいています。中でも市民の方に1番ご好評いただいているのが幼稚園の記事です。平成27年度から平成28年度にかけて取材編集を行って、今年度は各幼稚園にアンケート調査を実施して、最新情報を掲載しています。こちらの幼稚園に関する記事は毎回アクセス数上位を占めて、保護者の方にも好評とのことでした。

次のページをご覧ください。子育て応援隊は、子育て中のママ、パパ、子どもたちを支援、応援する団体や個人の集まりで構成されており、子育て支援センターで登録いただくことで入隊できるものとなっています。平成31年1月現在で109の団体に登録いただいています。子育て応援隊に入会すると団体ごとにはぼっくるん隊のページを持つことができ、自身の活動コラムを掲載できます。活動を取り上げたり、ご自身が気になっていることを書いたりしています。

次のページをご覧ください。子育て応援情報サイトの工夫や留意点が2点ごさいます。1つ目は最新の情報を掲載することです。新着ブースで月2回発行される広報そうかの記事を掲載しています。広報そうかが発行されるとともに新着ブースに掲載するため、最新の行政情報に触れることができます。子育て応援隊に関しては、年1回更新を行っているため、活動休止している団体イベントにつきましては情報更新して掲載しております。2つ目は市民目線のサイトです。サイトの更新にあたっては、子育て支援コーディネーターとぼっくるん隊に依頼をして意見を集めており、市民目線のサイト作成に取り組んでおります。行政職員ですと文書が堅くなってしまうため、子育て世代が読みやすいように、子育て世代が作成することで読みやすい文書ができるのではないかと考えております。

続きまして、ネットを使える環境にない方への対策です。総務省の統計によりますと、子育て世代にあたる20代から40代の方々のモバイル通信機器の保有率は99%を超えているため、ほぼ全ての子育て世代がぼっくるんを閲覧することができると考えています。しかし、全ての人閲覧できる環境ではないため、市民閲覧用のパソコンを子育て支援センターに設置し、開所時間であればいつでも利用いただける状態にしています。また、一部の情報を除いては、紙ベースの資料を子育て支援センター、市役所第2庁舎2階の情報スポットプチみつけでご覧いただけます。

次のページをご覧ください。今後の課題についてですが3点ごさいます。まず1点目は、スマートフォンの対応についてです。当時はスマートフォンの普及率が低かったため、子育てサイトはパソコンを使用しての利用でした。スマートフォンでは小さくて見にくくはなるものの閲覧可能であるため、スマートフォン専用サイトは準備していませんでした。しかし、近年スマートフォン利用の割合が増えているため、利用者からスマートフォン専用サイトの作成をして欲しいという要望が多く寄せられるようになってきました。このことを受け

	<p>てスマートフォン専用サイトの作成を検討しています。ただ、サイト更新には費用等が発生してしまい、なかなか難しい状況のため、今後も検討を重ねて早い時期に導入に向けて動いていきたいと思ひます。2点目はサイト内の情報を見つけるのが難しくなっている点です。現在、カテゴリーで情報の分類をしています、開設から5年が経ち、カテゴリーに対する情報量の割合が大きくなっているのが現状です。1つのカテゴリー、例えば子育て応援隊は子育て応援団体・サークル・その他の3つのカテゴリーで100以上の団体に分けているため、草加のカテゴリーの中に50団体以上の子育て応援隊が登録されています。そのため、例えば草加駅周辺でベビーマッサージをやってくれるところを探していても、なかなか探すのに苦労をしてしまいます。このため、新たなカテゴリー分けについても検討が必要ですが、システム改修も必要であるため、なかなかすぐの対応が難しいのが現状です。最後に3点目ですが、利用頻度が少ないコンテンツです。ぼっくるん内においても、利用者が交流できる掲示板を設置して、開設当初はTwitterやFacebookなどがまだ世の中に浸透しておらず、インターネット上の交流環境があまりなく、ぼっくるんのサイトにおいても必要なコンテンツでした。しかし、現在はTwitterやFacebookなどのSNSが普及して、インターネット上で交流できる環境が充実するようになりました。さらに、ぼっくるんを利用したのコミュニティよりも今申し上げたSNSを利用したのコミュニティの方が大きく、そのため小さなコミュニティであるぼっくるん内のコンテンツの需要が年々小さくなっております。こちらとしても役割が終了したコンテンツを見直して、新たに必要とされるコンテンツの創出をしていきたいと思ひます。</p>
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>ご質問がありましたらお願いします。</p>
<p>【登録員】 (登録員D)</p>	<p>所管は子ども未来部ですか。何課ですか。</p>
<p>【子育て支援センター】 (遠藤所長)</p>	<p>所管は子ども未来部の子育て支援センターです。</p>
<p>【登録員】 (登録員D)</p>	<p>松原の施設の改修は終わりましたか。</p>
<p>【子育て支援センター】 (遠藤所長)</p>	<p>児童館のことでしたら別の所管です。パンフレットに子育て支援センターの場所案内がございますのでご参照ください。</p>
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>ぼっくるん隊の定員数が10名で現在は9名ということですが、お給料は発生するのですか。それともボランティアですか。</p>
<p>【子育て支援センター】 (遠藤所長)</p>	<p>ボランティアという形でやっていますが、会議に参加したり、記事を集めていただいた際にはある程度有償という形でお支払いしています。</p>
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>コーディネーターの方も同様ですか。</p>
<p>【子育て支援センター】 (遠藤所長)</p>	<p>コーディネーターは待遇上市の非常勤として報酬が発生しています。</p>
<p>【登録員】 (登録員D)</p>	<p>センターの営業時間は何時から何時までですか。</p>
<p>【子育て支援センター】 (遠藤所長)</p>	<p>8時30分から17時までです。</p>
<p>【登録員】 (登録員D)</p>	<p>コーディネーターは何時から何時まで勤務でいくらですか。</p>

<p>【子育て支援センター】 (遠藤所長)</p>	<p>コーディネーターは日額7700円で勤務時間は営業時間内の7時間となっております。</p>
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>他に質問はございますか。なければ今回の会議の説明を事務局からお願いします。</p>
<p>【事務局】 (鈴木所長)</p>	<p>前回の会議では、子育て支援センターの皆様からお話を聞くという案はなかったのですが、本日の会議を開催する前に一部のメンバーと事前の打合せをした時に、皆様が簡単に情報にたどり着けるような仕組みづくりをするにはどうしたらよいかを考える中で、子育て支援のジャンルに特化している草加子育て応援情報サイトぼっくるんが際立って見えました。こちらの運営が市民との連携もしているということで非常に参考になると判断して、急遽お願いしました。</p>
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>今の講話を参考にしながら、共生社会の実現をめざすための一手段として、地域住民をつなぐ情報提供のあり方について皆さんにご検討いただきます。</p>
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>初めに、前回会議について振り返りたいと思います。事務局より説明をお願いします。</p>
<p><b>《事務局より説明》</b></p>	
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>お手元の資料5を見ていただけるとお分かりいただけるかと思いますが、行政は非常に多くの資料を通して情報提供しています。前回の会議では市民目線が欠けているので、どのようにしたら市民目線の情報提供ができるのかを考えていくことが必要であると話し合っていました。福祉や子育ては充実した形で書かれているのですが、福祉の中でもどのような情報があると分かりやすいのかなど、市民目線の資料の見せ方や発信の仕方を前回の意見を参考にグループで話し合っていたきたいと思います。</p>
<p>【登録員】 (登録員D)</p>	<p>先日、自宅に送られてきた市民便利帳に様々な市の情報が網羅されているのですが。</p>
<p>【登録員】 (登録員B)</p>	<p>これだけ行政が情報を出している。そして前回話し合った。現時点で、テーマを出してくれた【登録員E】に、今回のテーマをどのように受け止めて何を話し合ってもらいたいか、簡潔に話していただきたいです。</p>
<p>【登録員】 (登録員E)</p>	<p>最初に話した時は、草加市民として草加でどのように暮らしていくのかを真剣に考えた方がいいのではないだろうか、行政任せでいいのかといったことを考えていました。まず、いきなりそのような話になってもどうしたらいいか分からないので、具体的な案として、医療、介護などの情報を網羅した市民が使えるマップ作りを取り上げました。川崎の事例を参考に散歩マップを考えました。その時は、行政が沢山の種類のマップを発行していることを知りませんでした。集めていただきはじめて分かったというのが実感です。</p>
<p>【登録員】 (登録員E)</p>	<p>市の取り組みや資料を知った今は、自宅に届いていたこの草加市民便利帳を有効に活用すれば暮らしには困らないのかなと思いました。マップをつかって自分たちは草加市民だという認識を高めながらどのように暮らすか考えようということで、マップづくりが第一目標ではなかった。しかし、こんなにあったということは、これを活用して生きていくにはどうしたらいいかということだと思います。今年度末に市民便利帳が配られることを知らなかったので提案した次第です。</p>
<p>【登録員】 (登録員E)</p>	<p>もう一つ、自分が活動している関係で、本日、朝日新聞が開催する「人生100年時代の生き方とお金」についての座談会に参加してきました。50代前半の方が、子どもが大学に進学して経済的に苦しいという話がありました。でも他人ごとではない。2025年になると高齢化率が28%くらいになるのですかね。そうした時にどのように生きていくのか、自分事として、きちんと自分の生き方を考えていかなくてはいけない。自分たちが高齢者だと思っていたけ</p>

れど、今の40代だって50代だって高齢者になっていくのだから、それを地域でどのように生きていくのかを真剣に考えなくてはならないと思って帰ってきました。

今日、みんなでまちづくり会議で子育て支援センターの話聞いて、私たちが生活をしていの中で知りたい、行きたい、悩んだらどうするのかをすぐに分かるようなものが欲しいと思いました。子育て支援の方では既にできている。今日の会議の出席者に子育て世代がいませんが、それはしっかりとした情報提供の仕組みができていからだと思います。しかし、草加市にどう住みたいかをもう少し真剣に考えていかなくてはならないと思います。

先日、ニュースを見ていましたら、県民の愛着心の1番弱いところが山梨県、次に埼玉県でした。それを踏まえ、草加市はどうかと考えていた時に、今、みんなでまちづくり会議に来ていて、落語会と重複して出席者が少ないとなった時に、どのように考えればいいのか分からないというのが実感です。

【登録員】  
（登録員F）

先程、進行からグループで議論をしてくださいと話がありましたが、果たして議論するのはどうなのかということで、【登録員B】は【登録員E】が現状でどのように思っているか聞いてくださいということでお聞きしたのだと思います。【登録員E】の話聞いて私が感じたことは、子育て支援をはじめ行政からの情報提供の環境は整っており、新たにマップをつくる必要はない。【登録員E】のテーマはマップづくりが目的ではなく、どのように暮らしやすくしていくかという点にありますので、本日はマップづくりのために議論をする必要がないと受け止めました。

【登録員】  
（登録員B）

私も結論から言うと、マップづくりはなしだと思えます。子育て支援センターが実用的なものを用意しています。子どもたちをサポートするシステムがあるとはっきりと分かりました。これからの世代のために行政がここまでやってくれています。だから、今回のテーマについては話し合う必要がなくなったと思います。私たちの年齢の人たちが若い世代の人を導いてあげる。【登録員E】は若い世代と私たちの世代が分断されていると言いましたが、私は決してそうではないと思います。そうではなくて、私たちが長年の経験を生かして、次の草加を担っていく若い世代と手を取り合っていくことが大事だと思います。

【登録員】  
（登録員E）

私は4月から話してきたことは決して無駄だとは思っていません。これだけの情報があると分かったのです。これらの情報を知ってもらうことが大切です。それに対してグループの中ではマップづくりのマップという話がありました。つくってくださったマップがこれだけあったということがこの会議を通して分かったので無駄ではないです。

【登録員】  
（登録員C）

資料配布物一覧を見ていただくと、それぞれの部署から様々な資料による情報提供がありますが、市民がそのようなことをやっていることを知らないだけです。我々は自分の興味のあるテーマだけは見ます。行政はどうしても縦割りになってしまうので、横に串刺しするような組織があれば、何か困ったことがある時に相談することができます。

松戸市にはすぐやる課がありますが、それに近いような何でも相談できるような組織があるといいと思います。もし、そのような条例ができればそれが実施条例になってくると思います。そういったことをつくっていく議論をしていけばおもしろくなると思います。1つ1つのことをこうして欲しいということはあるのですが、どうしたら実施条例ができるのか、いろんな相談事どのように答えるのかをみんなで考えて、条例ができてそういった課ができて、久しみやすい組織で半官半民でもいいと思うのですが、行政と市民とで定期的にやりながら相談を受けるとか、そうしていくと市民と行政との協働になると思います。

【登録員】  
（登録員G）

各課で作成した資料は素晴らしいものですが、市民が知らなかったり、機能的に使えなかったりするので、この作成した資料を市民が情報に触れやすいようにつないでいくものが必

	<p>要です。これをみんなでまちづくり会議で話して進めていきたいと思いました。1つ気になるのは、こういったものをつくる時に市の予算が充てられないとやる意味がないということです。せっかく話をして考えても、結果的に実現しないということでは何も見えてきません。今回の市民便利帳もいきなり自宅に送られてきて、我々は全然現状が分からない。こういったことが市民に発信されずいきなり出てくる。それでは今まで我々が話し合ってきたことは何なのだ。ここに市民と行政とのかい離を感じます。予算がつかないと、来年、再来年と持ち越して行って、実現に至らないことになります。</p>
<p>【登録員】 (登録員C)</p>	<p>繰り返しになりますが、実施条例のようなものをつくって、予算をつけてやらないと、せっかくいい意見を出してもなかなか実施できません。私はそれでも話をするだけ意味があると思うので今後も参加をします。</p>
<p>【登録員】 (登録員H)</p>	<p>先ほどから話が出ていますが、地域包括支援センターが草加市に8つあります。地域毎にありますので、こういった所に相談に行くということはお存じないですか。</p>
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>前回の話で地域包括支援センターについて話が出たのですが、非常に分かりにくい場所にあるということで問題になりました。</p>
<p>【登録員】 (登録員G)</p>	<p>地域包括支援センターがどこにあるのか知らない人が多いです。8か所あるのも知らないし、何をやっているのかも知らない人がいます。自分でやっているサロンでは、地域包括支援センターがどこにあって、どのような役割があるのかをセンターの職員に来てもらって説明してもらいました。そうしないと市民は分からないし、全然浸透していないのです。私は地域包括支援センターを毎月回っているのですが、初めて行った時は通り過ぎてしまいました。センターごとに設置している団体が違うので方針も違います。連携もしているようでしていません。行政でそれを束ねているのですが、実際はそれぞれ方針が違うのです。私もサロンをやってみて分かりました。だから、一般市民の人はもっと分からないと思います。</p>
<p>【登録員】 (登録員E)</p>	<p>地域包括支援センターに相談に行ってもうちの管轄ではないと言われてしまいました。</p>
<p>【登録員】 (登録員H)</p>	<p>それが行政の縦割りを象徴していると言えます。</p>
<p>【事務局】 (鈴木所長)</p>	<p>福祉政策課長からご説明さしあげた地域福祉推進基本方針について振り返ってみますと、市内の割り振りがご指摘の通りわかりにくさの典型でした。分野によって市内エリアが12地区だったり10地区だったりに分かれていて複雑だったのですが、今後は地域福祉の計画で、10地区で分野の統一を図るようにしていくと前回のご説明で紹介がありました。徐々に分かりやすくなっていくと思います。</p>
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>たくさん地図が出ている中で地図毎に区分の色が違うなど、市民にとって非常に見づらくて分かりにくいものではないかと思います。誰かが聞いた時にこの資料ですとパッと出してくれたり、説明してくれる人がいればいいと思います。マップのマップではないですが、紹介してくれるところがあればいいのですが、いざ見つけようとした時に区分や色が違っていると、どうやって探せばいいのか分かりません。市の方に聞いてみても縦割りなので分からないと回答されてしまいます。</p>
<p>【登録員】 (登録員E)</p>	<p>私はテーマの提案をして、マップや資料があることを知れて勉強になりました。</p>

<p>【登録員】 (登録員C)</p>	<p>お話にあった通り、色を統一して分かりやすくするなど、色々なことをまとめられるように横の連携が必要です。</p>
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>子育て支援センターの子育て支援コーディネーターなどのように地域コーディネーターのような人を市民から公募して、どこが盲点であるのかをやっていかなくてはならない。市民便利帳も【登録員B】と同じでショックな出来事です。私たちが今まで話してきたのは何だったのかとなります。しかも、これだけの冊数とカラー刷りなので、前々から予算が組まれていたのではないですか。</p>
<p>【事務局】 (山中課長)</p>	<p>市民便利帳は以前からあります。今回分かりやすくしようと改定したものです。</p>
<p>【事務局】 (鈴木所長)</p>	<p>以前はタウンページとくっついていました。NTTさんから出されているものに相乗りさせていただく形で載せていました。今回は市独自でという形で出させていただきました。</p>
<p>【登録員】 (登録員C)</p>	<p>こういったものは行政がやるというより、タウンページなどの民間の業者がやるというイメージが強いです。当然、草加市のどこかの課と絡んでやっているかと思いますが、市から予算がどれだけ出ているか分からないけれど、市の予算をあまり使っていないから情報が市民に伝わりにくいのかもかもしれません。</p>
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>このような冊子が発行されると、この会議をする意味があるのかってなりますよね。既に市の予算があって決まっていて、動きがあったというのが一切この会議に情報として流れてこない、情報をもう少しみんなでまちづくり会議に出して欲しいということも言ったのですが、一生懸命この会議で話したのに決まっているから何も言えないという状態になってしまっているのでしょうか。</p>
<p>【登録員】 (登録員C)</p>	<p>市民の意見を言えるような条例をつくれればいいのです。自治基本条例はあるのに実施できないのは実施条例がないからです。</p>
<p>【登録員】 (登録員D)</p>	<p>計画ができてしまうと我々市民に邪魔をされたくないから実施のギリギリまで隠してしまう。最初に計画が立案された時点で公聴会を開くようにしてもらわないと、いつまでもこの体質は直らないと思います。総合政策課やみんなでまちづくり課でできないようなら、病院なんかで総合診療科があるように、市でも新たに民間と連携して総合的に対応できる部署をつくった方が効率がいいのではないのでしょうか。場所の改修や移転等がある場合があるので、毎年一回は必ず出すようにして持続性がないと変化についていけないので、毎年4月になったら便利帳を出すようにした方がいいと思います。</p>
<p>【事務局】 (山中課長)</p>	<p>便利帳は毎年出しているものではありません。</p>
<p>【登録員】 (登録員D)</p>	<p>毎年出さないから市民に周知できないのではないですか。</p>
<p>【登録員】 (登録員B)</p>	<p>毎年出す必要はない。2、3年に1回で十分です。</p>
<p>【登録員】 (登録員D)</p>	<p>市役所の建て替えなどけじめの年には出した方がいいと思います。</p>
<p>【登録員】 (登録員G)</p>	<p>いずれにしても、基本条例に則り動くとしたら、実行できるようにシステムを作って欲しい。まずは予算をつけることが必要で、いくら計画しても予算がないとできません。もう1つが色々な情報の交通整理をする部署がどこにもありません。これが不満の原点だと思います。</p>

	<p>す。こういう情報のコントロールをすることを行政の方でどこがすればいいかわからない。情報の一元化をできるような交通整理をする部署をつくってほしいです。</p>
<p>【事務局】 (山中課長)</p>	<p>皆さんのご意見は分かりますが、所管ごとに専門分野がありますので、理想はおっしゃられたようにコーディネートできれば良いと思います。なるべく市民の皆様に分かりやすくかつ情報を届きやすくしていくようにはしています。計画についても基本的にはパブリックコメントを通して市民の意見の吸い上げを行った上で作成しています。理想は色々あると思いますが、役所としてもいろいろ課題があり、理想通りに全て実施するのは難しいです。</p>
<p>【登録員】 (登録員D)</p>	<p>それは役所の問題で、我々の問題ではないですね。</p>
<p>【事務局】 (山中課長)</p>	<p>分かっておりますが、自治基本条例ができてから市民協働の視点はどこの所管でも頭に入っていると思います。条例ができた当初の役所と今の役所では違って、市民の意見は基本的にはどこの所管でも聞く耳を持っていると思います。それが予算に反映できるかは別ですが。また、選挙で選ばれた市民が議会で色々なことを決めて予算をつけていくという仕組みが日本の自治体のどこにでもあり、民主主義の世界であると思っています。【登録員C】がおっしゃられたとおり、自治基本条例は通常どこの自治体でも理念条例ですが、草加市の自治基本条例では第7章・第8章に具体的な運用制度があり、みんなでまちづくり会議の中で提案できるように位置づけられています。それが要望になってしまうと市も提案として受けられないので、あくまで市民協働としてこういったことができるという提案として取り上げられていけばできるようになっていくと思います。自治基本条例については【登録員F】が市民検証委員会委員として参加しており、今年の12月頃までかけて2回目の検証を行っている途中です。色々なご意見をいただく中で、実施条例などの意見が上がってくれば、検討させていただきます。そして、このみんなでまちづくり会議が無駄になるかという点は無駄ではないと思います。色々な意見を出し合うことはなかなかできないことだと個人的には思っています。本当はもっと地域ごとにみんなでまちづくり会議があって、地域の課題を解決していけるような話し合いの場があるとよいのではないかと思います。その辺をご理解いただく中で、自治基本条例の検証を進めながら【登録員B】がおっしゃったようになかなか提案に至っていないので、参加するだけ無駄だという気持ちも重々分かりますが、みんなでまちづくり課も市民活動センターも皆様と一緒に困っている人が助かって、住みやすい草加のまちづくりをしていきたいと思っておりますので、ご理解いただけたらと思います。</p>
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>先程おっしゃいましたパブリックコメントはこちらに投げかけてはくれないのですか。</p>
<p>【事務局】 (山中課長)</p>	<p>パブリックコメントは広報そうかななどにも掲載しており周知しています。計画づくりの時の委員募集については、自治基本条例が施行されてからは基本的に一名程度は公募の委員を入れています。</p>
<p>【登録員】 (登録員D)</p>	<p>すごく席が少ないですね。</p>
<p>【事務局】 (山中課長)</p>	<p>審議会によっては大学などの学識者にご参加いただく必要があるものもございますので、公募が一名になってしまうこともあります。少ないと言われますと頭の痛いところですがご理解いただけたらと思います。</p>
<p>【登録員】 (登録員D)</p>	<p>商工会議所や町会連合会は定席がありますが、これはどういったことでしょうか。</p>
<p>【事務局】</p>	<p>私もみんなでまちづくり課に異動して気づかされたのですが、町会・自治会の役員さんの</p>

(山中課長)	<p>大多数が報酬も受けずに町会をよくしようと色々なことをしていただいています。</p>
【登録員】 (登録員D)	<p>私が班長をしていた時に一つだけ実現したことがありました。役員会議を公開するという ことで、実際に町会の役員会に出てみたら皆さんはお友達同士で、終わる寸前になるとお酒 を運んでくる人がいて、会議がまだ終わっていないのに行っていました。</p>
【事務局】 (山中課長)	<p>町会の方は避難訓練を行うなど草加市のために動いていただいているので、その点も理解 していただけたらと思います。</p>
【事務局】 (鈴木所長)	<p>話の腰を折るようで申し訳ありません。テーマとは違う話になっていますので、一旦ここ で切らせてください。皆様、いかがでしょうか。初めはやはり地域をつなぐマップのような ものが必要ではないかということで、マップづくりの提案をされたと思うのですが、マップ づくりが究極の目的ではないですね。地域をつなぐことが目的で、地域をつなぐツールと してどういったものがあるかを考えた方が切り口としていいのではないかと事務局で考えさ せていただきました。【登録員E】の話にもありましたが、これだけのものを行政サイドで 発行していると分かったので、改めてマップを作っていくのは本意ではないということでした。 子育て支援の分野ではぼくらの内容を皆様が知ることができてよかったと思っています。 市の取組を知ることもこの会議の1つの目的だと考えています。子育て支援センターの ように市民の方たちの取材力を活かしながら、市民の視点を盛り込んでいるものがあること が実際に分かった上で、次にどのようにしていくかを検討したいです。【登録員E】からご 提案いただいたことについて、引き続き検討する必要性がありますか。そこを皆様と検討し て、1つの着地点を見つけたいと思います。取りまとめできるものがありましたらお願いしま す。協働の視点を考えるのが本会議の趣旨ですので、役所側にこういったものを整理してく れと願う代わりに、皆様も何かまとめていただけるような意見を出していただきたい です。</p>
【登録員】 (登録員A)	<p>せっかく皆様に来ていただいたので、1人ずつ意見を述べていただけたらと思います。</p>
【登録員】 (登録員C)	<p>2点ございます。1つが自治基本条例は既にありますが実施条例が必要かどうかについては 検証委員会でご検討いただきたいです。もう1つは市等で作成している資料が豊富にあると分 かったので、市民がどこに相談したらいいかわからない時に教えてもらえるような組織があ るといいと思いました。</p>
【登録員】 (H登録員)	<p>前回の医療・福祉に限らず複合的な悩みもあるので、そこをつなげる交通整理、これがす ばらしいと思います。地域包括支援センターが分かりにくいということならば、交通整理を していただき、分かりやすく色分けをしたものをマップにしたらいいいと思います。</p>
【登録員】 (登録員D)	<p>先程言ったように、総括できるような部署ができ、庁舎や課のことを熟知した方にやって いただけたらと思います。最初の方で、議員提案なのか行政提案なのかと聞いた時、誰も分 かりませんでした。あまりにも専門的過ぎて全体が見えていないのではないのでしょうか。自 分たちの分野に特化するのには素晴らしいですが、リベラルアーツがないと、木を見て森を見 ずになって総合的な判断ができない状態になってしまいます。自分たちの部分しか見ていな いのではないのでしょうか。だから、横に広くやっていただけたらと思います。</p>
【登録員】 (登録員I)	<p>私の母は80歳で、私は50歳です。草加に引っ越して1年くらいですが、私と高齢の母がこれ から草加で楽しく生きていけるように、草加を良くしていきたい気持ちとみんなでまちづく り会議とはどのようなものかという関心を持って今回の会議に臨みました。今回の会議に参</p>

	<p>加して、どういったものであるのか少し分かってよかったので、今後も会議に参加して草加のまちをよくしていけたらと思います。</p>
<p>【登録員】 (登録員B)</p>	<p>自治基本条例が機能していません。みんなでまちづくり会議に参加してから5年になります。1つも成し遂げた事業がありません。次回は欠席いたします。実施条例ができるのを楽しみにしています。あと、山中課長は立場が苦しいかと思います。市長は山中課長に予算を含めて活動できるだけの権限を与えた方がいいと思います。山中課長が包括的に全て取り仕切ってまとめた方がいいと思います。そして、余計なものを増やさずシンプルな中で交通整理をすることです。実現できるものができたら声をかけてください。その会から参加するようにします。</p>
<p>【登録員】 (登録員G)</p>	<p>私は介護支援に携わっている関係で高齢者の立場がよく分かります。私より若くてもいろんな意味で高齢者の人が多いです。どういうことかと言いますと、外に出ないので情報が分からない、興味がない、草加が住みやすいと分からないということを1つ1つ解きほぐしていかななくてはならない。これからは困った時に教えてもらえる優しいまちになって欲しいと思います。そういった意味でのガイドマップづくりは大切だと思います。</p>
<p>【登録員】 (登録員F)</p>	<p>【登録員C】がおっしゃっていた条例のことですが、実施条例をつくる経過にも問題があつてここまでできています。検証委員の皆様の見解によりますが、前回の検証委員会では自治基本条例の運用上のことだけに手をつけたので、今回の検証では個人的には先程話に出てきたような総合的に取りまとめを行う部署として、自治基本条例推進室のようなところできちんと把握をして、総合的にやっていくというような前進を求めたいのですが、結果は保証できません。</p>
<p>【登録員】 (登録員E)</p>	<p>しっかりとした正解の出るようなテーマを出さなかったので大変難しかったと思います。これだけ議論できて嬉しいし、草加っていいなと初めて思いました。</p>
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>市民の意見を取り入れて市のマスタープランなどがつくられているといいますが、市民の意見とは誰の意見なのかが分からないのは盲点ではないかと思います。例えば、みんなでまちづくり会議で市民の意見として取り上げた内容をパブリックコメントとして取り上げるというのは本当に少ない。こういった頑張っている人たちに、まずは市民の意見としてのパブリックコメントを求めるべきではないかと思います。専門の人に求めるのはいいのですが、地域で活動している人にパブリックコメントを投げかけた方がいいと思います。</p>
<p>【登録員】 (登録員F)</p>	<p>パブリックコメントは市民が広報そうか等を見て自らすべきものだと思います。</p>
<p>【登録員】 (登録員A)</p>	<p>情報提供という部分でパブリックコメントが市民側にほとんど出ていないと思います。先程の市民便利帳の話もそうですし、公共施設の問題もそうですし、川に関する結構長い間話し合っていて、じゃ籠式という安全面の話も、市の職員の方が来ていて【登録員B】の話参考をしながらお話ししますという話でも会議で出ていました。【登録員B】には他の議題を私たちが話している間に背後で話し合っていて、計画の進んだ部分を話してもらいましょうということでまとめていましたが、計画がほとんど入っていない結果になってしまい残念だった。この会議以外でもいろんな人たちと話し合っていて、こういうようにしていったらどうかという計画をたてていたのに、それが残念でならないです。予算もあると思いますが、こういう流れがありますという話もしていただかず、ぽつとふつと湧いてきた話で決まっていたという話を今参加されていない方から私の耳にも入ってきています。また、次回からのみんなでまちづくり会議の話し合いは、進行のまちづくり登録員や市の方たちと話し合</p>

<p>【事務局】 (鈴木所長)</p> <p>【登録員】 (登録員D)</p> <p>【事務局】 (鈴木所長)</p> <p>【事務局】 (山中課長)</p> <p>【事務局】 (鈴木所長)</p> <p>【登録員】 (登録員E)</p> <p>【登録員】 (登録員D)</p> <p>【事務局】 (鈴木所長)</p>	<p>って進めていきたいと思えます。</p> <p>この会議は、まちづくり登録の皆さんから発案された議題に基づいて、色々なアイデアや調査をかけながら審議し、提案の形として上手くまとめられないかと探っていく場です。勉強不足で正確な件数は分かりませんが、毎年多くのパブリックコメントがありまして、この会議でパブリックコメントの全部を説明する場ではないということをご理解いただきたいです。それをはじめてしまうと全く違う会議になってしまうので、誤解しないでいただきたいです。情報は発信する側に課題があるかもしれませんが、パブリックコメントが行われている内容をご存知でない受け手側にも課題はあると思います。皆さん、どれだけ関心を持って広報そうかを眺めていますか。どんなにお金をかけても見ようとしない方には伝わりません。行政も民間のように広告宣伝費をふんだんに投入して、皆さんの耳に否応でも伝えることはできないのです。</p> <p>行政の方でボランティアに参加している方はいらっしゃるのですか。</p> <p>参加していますよ。ですが、今その話は本質ではないです。</p> <p>一言言わせていただいてもよろしいでしょうか。様々な情報の冊子がありますが、それらの情報をどのように活用するかということで、福祉政策課の課長がこの会議に来て、地域福祉について話をしました。その中で、役所に来なくても地域で相談ができるように各ブロックにコミュニティをつくり、コーディネートしていくコミュニティソーシャルワーカーを地域毎に配置するという話がありましたが、地域の課題を解決していくことがこれからの地域福祉であると思います。そして、厚生労働省にも補助金が出るような仕組みがあり、特に単身の高年者が外に出られなくて困っていることが1番の問題だと考えています。そういった問題を解決できるように、情報を地域の方が取りやすくしていく仕組みづくりが今後大事になると思っています。皆さんの意見を聞く中で地域福祉に反映していけたらと思っていますので、今後も皆さんで議論していただけたらと思います。</p> <p>今日いただいたご意見はこちらで整理して、各部署にお伝えいたします。【登録員E】が今回提示してくださったテーマについてはいかがですか。これから更に発展させていく等はお考えでしょうか。</p> <p>ここまで話した結果や意見等をまとめていただけたらと思います。</p> <p>自治基本条例の検証はいつ頃まで行うのですか。</p> <p>12月頃まで進めてまいります。</p> <p>それではそろそろお時間ですので終了したいと思います。【登録員E】からご発案いただいた議題については一旦ここで閉める形になりますがよろしいでしょうか。いただいたご意見は取りまとめをして庁内で共有させていただきます。具体的な成果で現れるのは将来的になるかもしれませんが、いただいた意見を施策に生かして欲しいということでどうぞ見守って下さい。</p> <p>事務連絡ですが、次回の会議は4月24日（水）、本日と同じ場所・時間で開催を予定しておりますので、皆様にご参加いただけたらと思います。まちづくり登録員からテーマを出していただいて議論するのが前提ですので、次回の会議では議題について皆様から意見を募るような通知をするなど、事務方で相談して対応させていただきます。</p>
---	--

<p>【登録員】 (登録員E)</p>	<p>中央公民館のイベントとぶつからないように開催していただきたいです。</p>
<p>【事務局】 (鈴木所長)</p>	<p>配慮していきます。</p>
<p>【登録員】 (登録員C)</p>	<p>4月以降の会議の日程を教えてください。</p>
<p>【事務局】 (鈴木所長)</p>	<p>4月24日(水)、7月24日(水)、10月23日(水)、1月29日(水)を予定しています。今後、大きなイベント等の便宜上、日程を修正させていただくかもしれませんが、こちらが現時点での予定でございます。</p>
<p>【事務局】 (山中課長)</p>	<p>車を止められない場合は青少年ホームの駐車場に停めていただきますようお願いいたします。21時30分までは了承を得ています。それでも止められない場合は、こちらで対応を検討させていただきます。</p>
<p>【登録員】 (登録員F)</p>	<p>市民活動センターが実施したアンケートによれば、みんなでまちづくり会議に集まりにくい理由の1つとして会議が夜だからということがあります。私はいろいろ経緯があるのであえて夜でも来ているのですが、できれば夜ではなく日中に変更することはできないのでしょうか。検討していただけたらと思います。この前その集計結果をいただいて、それによるとそういった意見も出ていましたが、私が知っている方は夜だと行けないという方もいらっしゃいます。</p>
<p>【事務局】 (山中課長)</p>	<p>当初は働いている人も参加できるようにということでの日時ですけど、検討してまいりたいと思います。</p>
<p>【事務局】 (鈴木所長)</p>	<p>議論も尽きないところではありますが、本日の会議は閉会させていただきます。最後に、案内人の中山様からご用意いただきました、市で作成しているまち歩きのマップを皆様にお配りしました。市役所に置いてありますので、ぜひご活用ください。</p>
<p>【事務局】 (鈴木所長)</p>	<p>以上を持ちまして、第4回草加市みんなでまちづくり会議を終了させていただきます。</p>